

施策評価シート【重点施策】

個別施策 - (2)

犯罪や消費者被害を防止する

基本的な方向性

地域住民が主体となった組織の取組を支援し、防犯意識を高めるとともに、犯罪が起きにくい地域づくりを進めます。また、消費生活に関する情報を提供し、消費者被害の未然防止を図るとともに、消費者トラブルの救済に向けた取組を進めます。さらに、市民の体感治安の向上に向けて、防犯活動や平塚駅周辺の環境浄化活動を関係団体等と連携して進めるとともに、本市の安心・安全に関するイメージの向上に向けて、効果的な情報発信に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
市と関係団体による防犯活動数【年間】	回	40	25	25	30	40	42
消費生活相談において消費者自らが相手方と交渉できるよう助言した件数の割合	%	89	87	88	87	87	85

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・平塚市防犯協会等の関係団体と連携し、地域安全運動などの防犯活動を実施するとともに、平塚警察署との連携協定に基づき、大型商業施設への警報機付き自転車の設置を継続し、体感治安の向上を図りました。また、自治会に対する防犯カメラへの設置補助を拡充し、地域における防犯設備の充実を図りました。
- ・消費者被害の未然防止を図るため、出前講座の開催、関係機関との連携、SNSによる注意喚起及び啓発活動を行いました。また、消費生活相談を行い、消費者トラブルの救済を図りました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・地域における犯罪を未然に防止する必要があります。
刑法犯認知件数の増加を抑制するため、平塚市防犯協会、平塚警察署等の関係団体と連携した各種防犯活動を継続し、市民の防犯意識と地域防犯力の向上を図ります。
防犯街路灯の設置や維持管理、自治会等管理の防犯カメラへの設置補助により、防犯設備の充実を図るとともに、市が管理する防犯カメラを活用し、警察機関等の犯罪捜査へ迅速に対応します。また、高齢者の特殊詐欺被害を防止するため、迷惑電話防止機能付き機器の購入費の一部を補助します。
- ・消費者被害を未然に防止するとともに、消費生活に関する意識の向上を図る必要があります。
被害が増加傾向にある若年層や悪質商法による被害が多い高齢者を対象とした消費者教育を継続するとともに、SNSを活用した情報提供を行います。また、環境や社会に配慮した消費を啓発するほか、消費者トラブルの迅速な救済に向けて消費生活相談員の資質の向上を図ります。

関連する【取組】と（事業）

【防犯活動・防犯設備の充実や体感治安向上の推進】(防犯対策・治安向上推進事業)(防犯設備整備事業)

【安心・安全な消費生活の支援】(安全で豊かな消費生活推進事業)